



昭文社

スーパーマップル・デジタル Ver.6

スーパーマップル・デジタル

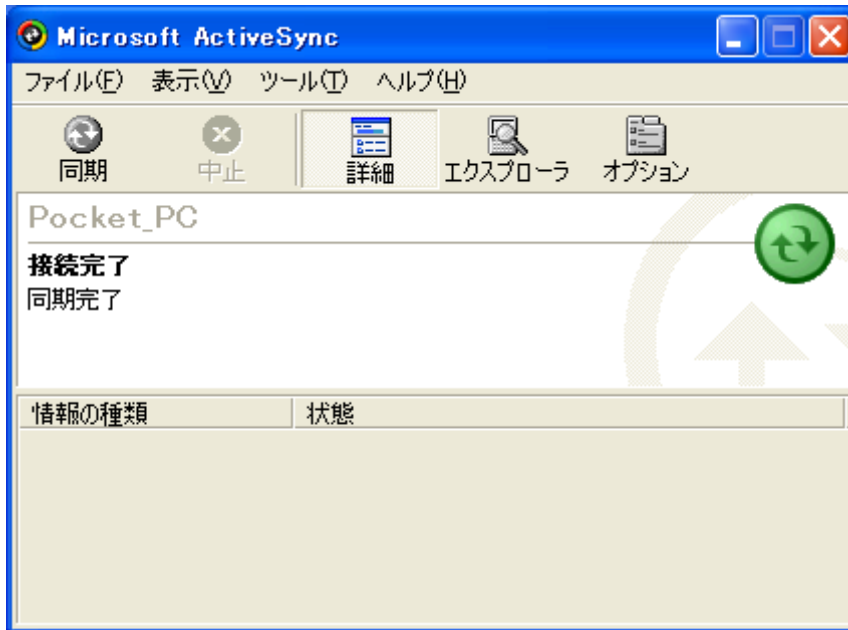
 **Super**
Digital Ver.6
Mappple

Pocket Mappple Digital

インストールマニュアル

インストール前の確認事項

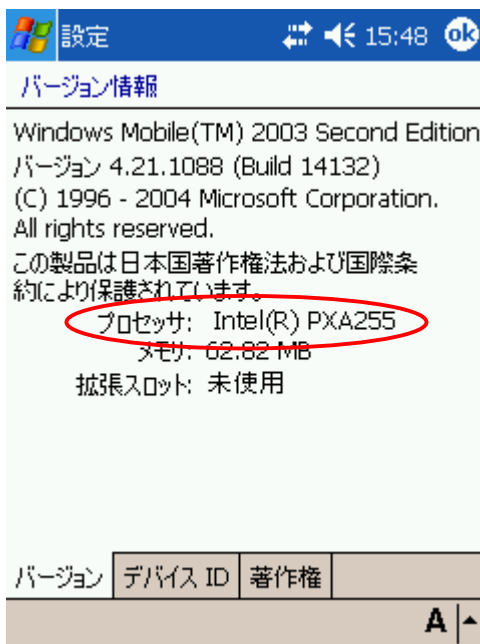
1.お持ちのパソコンと FDAが、ActiveSyncで接続されていることをご確認ください。



2.お持ちの FDAのプロセッサの種類をご確認ください。

確認方法

FDAのスタートメニューから、[設定]-[システム]-[バージョン情報]の順に選択して、バージョン画面を表示させ、中ほどに表示されている「プロセッサ」の項目をご確認ください。



MIPS

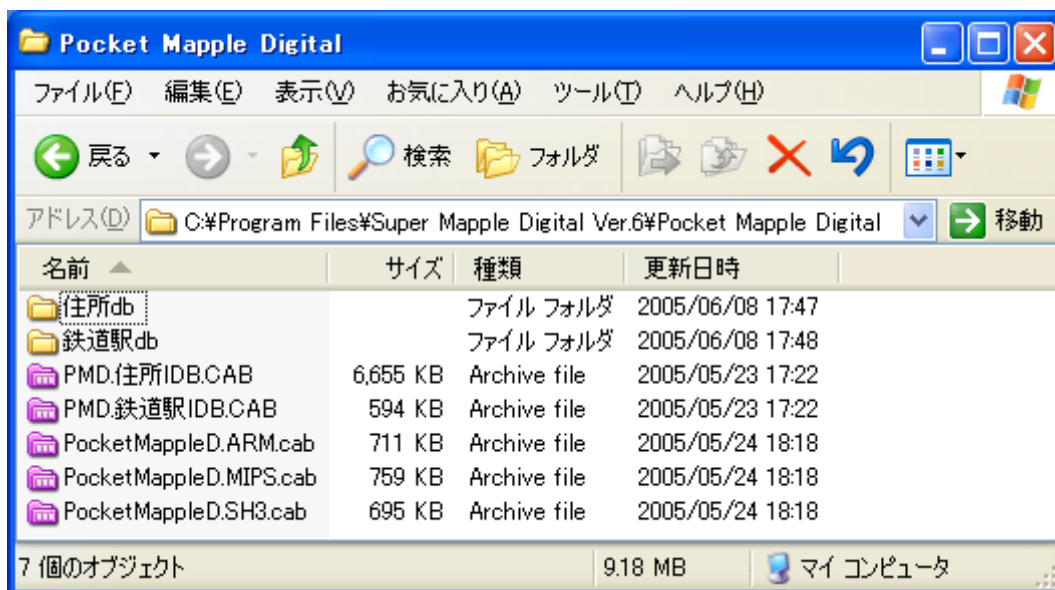
S-B

上記以外

のうち、いずれかが表示されています。

システムのインストール（パソコンでの操作）

1. Super Mapple Digital がインストールされているフォルダを開いてください。
Super Mapple Digital のインストール時にインストール先を変更していなければ「C:\Program Files\Super Mapple Digital Ver.6」になります。
2. フォルダ内の「Pocket Mapple Digital」フォルダを開いてください。
3. ご利用の PDA の種類に応じて、以下のファイルを選択します。



PDA の「プロセッサ」の種類によって、コピーするファイルが異なります。

プロセッサが「MIPS-」と記載されている場合・・・

PocketMappleD.MIPS.cab
PMD.住所 IDB.CAB
PMD.鉄道駅 IDB.CAB

プロセッサが「SH3-」と記載されている場合・・・

PocketMappleD.SH3.cab
PMD.住所 IDB.CAB
PMD.鉄道駅 IDB.CAB

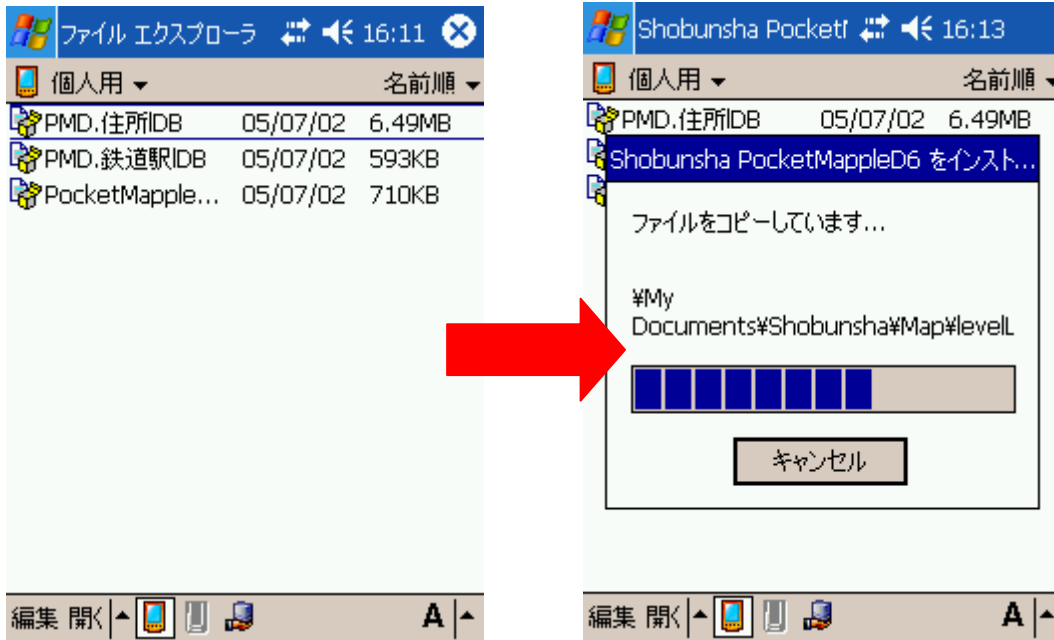
上記以外のプロセッサが記載されている場合は

PocketMappleD.ARM.cab
PMD.住所 IDB.CAB
PMD.鉄道駅 IDB.CAB

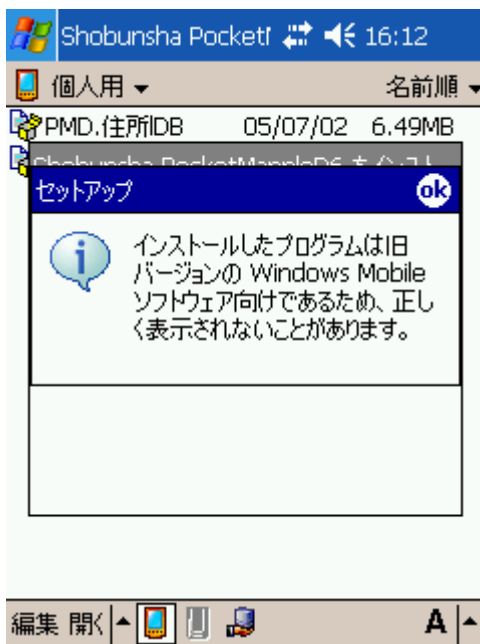
上記のファイルを、PDA 本体のフォルダにコピーしてください。保存先は PDA 本体であればどこでも構いません。

システムのインストール（PDAでの操作）

- 1.PDAの「ファイルエクスプローラ」で、ファイルをコピーしたフォルダを開きます。
- 2.「PocketMapleD.***.cab」をタップすると、自動的にインストールが始まります。



- 3.インストールが完了したら、引き続き「PMD.住所 IDB.CAB」「PMD.鉄道駅 IDB.CAB」を順にタップして、検索データのインストールを行ってください。



最新の PDA では、インストール終了後に左のようなメッセージが表示されることがありますが、動作には影響ございません。そのままご利用ください。



地図インストール時の注意

ここでは、Pocket Mapple Digital用ベクトル地図データの保存先について説明をしています。地図インストールの基本的な操作につきましては、「Super Mapple Digitalマニュアル」を開き、「付属アプリケーション」から「Pocket Mapple Digital」の「地図のインストール」をご参照願います。

メモリーカード内のファイル「ignore_my_docs」について

PCのエクスプローラなどでメモリーカードの内容を表示すると、カードの直下に「ignore_my_docs」というファイルが存在する場合があります。

このファイルと「My Documents」フォルダがメモリーカード直下に置かれていると、「My Documents」内にあるPocket Mapple Digital用の各種ファイルが読み取れない可能性がありますので、削除してください。

フォルダ構造について

FDA本体や FDAに挿入されたメモリーカードに直接地図をインストールする場合、フォルダの構造は以下のようになります。

FDA本体 /メモリーカード

```
My Documents Shobunsha フォルダ
                Map フォルダ
                    levelL フォルダ
                        *.mpi /mdi
                    levelM フォルダ
                        *.mpi /mdi
                    levelS フォルダ
                        *.mpi /mdi
```

```
切り出し名称 .ml
切り出し名称 .rcl
```

一方、一旦 PCや PCに接続されたメモリーカードに切り出す場合は、データ管理の仕様上、切り出し時に指定した名称がフォルダ名となり、以下のような構成になります。

```
PC保存先 Shobunsha フォルダ
            切り出し名称 フォルダ・・・
            Map フォルダ
                levelL フォルダ
                    *.mpi /mdi
                levelM フォルダ
                    *.mpi /mdi
                levelS フォルダ
                    *.mpi /mdi
```

```
切り出し名称 .ml
切り出し名称 .rcl
```

この状態で「Shobunsha」フォルダ以下を FDAにコピーしても、地図データを見ることができません。

PCに保存したデータを FDAに移動する場合は、切り出し名称フォルダ()を「Shobunsha」にリネームし、FDAの本体 /メモリーカードの「My Documents」に 以下の全ファイルを上書きコピーすることで利用可能となります。